

主 題 名 》 多文化共生

教 材 名 》 ふれあい

人権学習の視点 》 個別的な視点「外国人の人権問題」

主題・教材について 》 私たちは、諸外国や他の民族に対して偏ったイメージを持っていることがある。外国人に対する差別はそのような偏った見方から生まれることに気付くとともに、さらに、交流を深め正しく理解することによって国や民族の違いを認め合いながら、お互いを尊重していこうとする態度を育てたい。

ね ら い 》 国籍や民族などの違いを超えて、人と人とが交流することの素晴らしさに気付き、国や民族の違いを正しく理解し、偏見をもたず、積極的にふれあいを広めようとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	○国や地域による自分のイメージの違いを考えさせる。	一斉	○国や地域による自分のイメージの違いを考える。 ・南北問題 ・生活習慣の違いなど	○どんな場合にマイナスイメージを持っているのかを整理する。	
展 開	民族や国籍の違いを超えて、人と人とが交流するためにはどうすればいいか考える。				
	○「ふれあい」を読ませ、美佳の気持ちの変化について読み取らせる。	一斉 個別	○「ふれあい」を読む。 ○美佳の気持ちの変化について読み取り、「正しく知る」ことが正しい判断につながることを理解させる。	①良平との会話の後→なぜ美佳はこのような考えを持っているのか。 ②美佳の自分自身の心の矛盾について→なぜこのような矛盾が生まれたのか。 ③見送る美佳の気持ちについて→なぜ、美佳の偏見はなくなったのか。 ○印象や思い込みで判断すると、間違った見方をすることがあり、正しく知ろうとする姿勢が大切であることを理解させる。	資料集 「ふれあい」 ワークシート 項目①,②,③
開	他の国の人や民族への偏見をなくし、互いに分かり合うためには何が必要だろうか。				
	○「世界から日本へ」のページに載っている「日本で暮らす外国人の話」を読み、他の国の人や民族への偏見をなくし、分かり合うためにできることを考え、意見交流させる。	個別 グループ	○2人のエピソードを読む。 ○外国から来られた方が、不安に思わない社会はどうすれば築いていけるかを考え、意見交流する。	○教師が読み聴かせても良い。 ○具体的行動につなげられるように助言する。 ・外国の本を読む ・新聞等のニュース ・ALTとのふれあい ・地域行事への参加等	ワークシート 項目④
ま と め	○本時のまとめをする。	一斉 グループ	○学習を振り返り、自分が感じたことや考えたことをまとめる		ワークシート 項目⑤

評 価 》 国籍や民族などの違いを超えて、人と人とが交流することの素晴らしさに気付き、国や民族の違いを正しく理解し、偏見をもたず、積極的にふれあいを広めようとする態度を養うことができたか。